

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	宮崎医療管理専門学校
設置者名	学校法人 東洋学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療管理専門課程	医療情報管理科	夜・通信	240時間	160時間	
	医療情報管理専攻科	夜・通信	135時間	80時間	
教育・社会福祉専門課程	介護福祉科	夜・通信	375時間	160時間	
	こども科	夜・通信	180時間	160時間	
(備考) 添付資料：一覧表、シラバス					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<ul style="list-style-type: none"> ・各科教務室に保管し、希望があれば閲覧できる。 ・インターネット https://toyomc.jp/wp-content/themes/medical-management/pdf/shien/r5/r5-2jitumu.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	宮崎医療管理専門学校
設置者名	学校法人 東洋学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<p>・インターネット https://toyomc.jp/wp-content/themes/medical-management/pdf/shien/r5/r5-7jigyو.pdf</p>
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	現 医療法人理事長 兼 病院長	2020年8月1日 ～ 2023年7月31日	法人全体に係るもの
非常勤	現 公共法人 理事長	2020年8月1日 ～ 2023年7月31日	法人全体に係るもの
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	宮崎医療管理園門学校
設置者名	学校法人 東洋学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>厚生労働省提示の授業内容や時間数等を基本とし、PDCAに基づく自己評価や学校関係者による評価、教育課程編成に係る意見、学生の満足度調査等をふまえ、学内共通のフォーマット(※下記項目)で作成している。例年1月にカリキュラム検討委員会を開催し、3月下旬をめどに教育要項(授業計画書を含む)を作成。4月のオリエンテーション時等で学生に配布し、各科目初講時に担当教員が伝達、確認している。</p> <p>※授業形態(方法)、学習目標、評価の方法及び基準、講義内容(授業計画) 他</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学生に「教育要項」配布 ・インターネット https://toyomc.jp/r5-syllabus/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学生に提示している学則及び学科履修規程(単位基準、評価・単位の認定、試験)、教育要項(評価の方法及び基準)に基づき、厳格かつ適正に単位の認定を行っている。また、履修状況や学修成果、意欲について、定例会議(各科、科長会、教職員会議)で報告し、検討及び対応にあたっている。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校学則（学科目履修規程）第6条「評価・単位の認定」にある成績（100点満点）の評価（標点※下記）を基準とし、各科学年ごとに平均を算出した一覧表により所属教員が把握できる。また、学則第29条「褒賞」に係る表彰委員会において、表彰規定（成績基準）の定めに提示された同一覧表により、適切な成績評価について確認している。</p> <p>※標点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 59点以下 ・ 60点～69点 ・ 70点～79点 ・ 80点～100点 <p>※成績の分布を表す資料添付</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生に「学生便覧」を配布 ・ インターネット https://toyomc.jp/wp-content/themes/medical-management/pdf/shien/r5/r5-5gakkamoku.pdf <p>※学科目履修規程第6条に下記を記載 「5 客観的な指標について、履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する。」</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校の教育方針をふまえ、学則（学科目履修規程）に基づいた卒業認定にあたり、各学科内で認定基準（修得単位数）や性行等について確認のうえ、関連資料（卒業判定一覧）を作成し学校長に提出。2月中旬実施の全教職員出席による卒業判定会にて、各2学年担任の報告を受け、学校長が判定する。内容は、認定、未認定、保留のいずれかであり、保留の場合、単位修得に係る事項について、卒業判定会にて審議、決定、実施される。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生に「学生便覧」を配布 ・ インターネット https://toyomc.jp/wp-content/themes/medical-management/pdf/shien/r5/r5-5gakkamoku.pdf

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	宮崎医療管理専門学校
設置者名	学校法人 東洋学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://toyomc.jp/wp-content/themes/medical-management/pdf/r4/r4zaimu.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://toyomc.jp/wp-content/themes/medical-management/pdf/r4/r4zaimu.pdf
財産目録	https://toyomc.jp/wp-content/themes/medical-management/pdf/r4/r4zaisan.pdf
事業報告書	https://toyomc.jp/wp-content/themes/medical-management/pdf/shien/r5/r5-7jigyو.pdf
監事による監査報告（書）	https://toyomc.jp/wp-content/themes/medical-management/pdf/shien/r5/r5-6kansa.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

<医療情報管理科>

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		医療管理専門課程	医療情報管理科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1780時間	795 時間	825 時間	160 時間	0	0
			1780時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		20人	0人	3人	16人	19人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

厚生労働省提示の授業内容や時間数等を基本とし、PDCAに基づく自己評価や学校関係者による評価、教育課程編成に係る意見、学生の満足度調査等をふまえ、学内共通のフォーマット（※下記項目）で作成している。例年1月にカリキュラム検討委員会を開催し、3月下旬をめどに教育要項（授業計画書を含む）を作成。4月のオリエンテーション時等で学生に配布し、各科目初講時に担当教員が伝達、確認している。

※授業形態（方法）、学習目標、評価の方法及び基準、講義内容（授業計画） 他
成績評価の基準・方法 （概要）・試験のうえ合格者に単位を与える。 ・所定授業数1／3以上欠席した場合、受験資格はない。 ・60点以上で合格とする。
卒業・進級の認定基準 （概要）・本校所定の教育課程を履修し、必要単位数を全て修得していること。 ・学校後納金を完納していること。 ・性行上問題がないこと。
学修支援等 （概要）・放課後等、授業時間外での個別相談、指導。 ・学習サポート室、相談室の設置。 ・担当教員及び学科で諮ったうえでの補講の実施。 ・巡回による実習指導。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14人 （100%）	10人 （71.4%）	4人 （28.6%）	0人 （0%）
（主な就職、業界等） 病院、診療所、調剤薬局等の医療機関			
（就職指導内容） ・履歴書の書き方、面接、筆記等試験対策 ・就職支援室の活用			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・医療秘書 ・医事コンピュータ技能検定 ・診療報酬請求事務能力認定試験 ・秘書技能検定 ・医療保険請求事務実技試験 ・メディカルクラーク ・ドクターズクラーク ・登録販売者			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		

(中退防止・中退者支援のための取組)
補講、教員との対話、個別指導、保護者との連携、生活指導 等

<医療情報管理専攻科>

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		医療管理専門課程	医療情報管理専攻科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	918時間	263 時間	615 時間	40 時間	0	0
			918時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		10人	0人	1人	7人	8人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
厚生労働省提示の授業内容や時間数等を基本とし、PDCAに基づく自己評価や学校関係者による評価、教育課程編成に係る意見、学生の満足度調査等をふまえ、学内共通のフォーマット（※下記項目）で作成している。例年1月にカリキュラム検討委員会を開催し、3月下旬をめどに教育要項（授業計画書を含む）を作成。4月のオリエンテーション時等で学生に配布し、各科目初講時に担当教員が伝達、確認している。
※授業形態（方法）、学習目標、評価の方法及び基準、講義内容（授業計画） 他
成績評価の基準・方法
（概要）・試験のうえ合格者に単位を与える。 ・所定授業数1／3以上欠席した場合、受験資格はない。 ・60点以上で合格とする。
卒業・進級の認定基準
（概要）・本校所定の教育課程を履修し、必要単位数を全て修得していること。 ・学校後納金を完納していること。 ・性行上問題がないこと。
学修支援等
（概要）・放課後等、授業時間外での個別相談、指導。 ・学習サポート室、相談室の設置。 ・担当教員及び学科で諮ったうえでの補講の実施。 ・巡回による実習指導。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他

7人 (100%)	0人 (0%)	7人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 病院			
(就職指導内容) ・履歴書の書き方、面接、筆記等試験対策 ・就職支援室の活用			
(主な学修成果(資格・検定等)) ・診療報酬請求事務能力認定試験 ・診療情報管理士			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
10人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 補講、教員との対話、個別指導、保護者との連携、生活指導 等		

<介護福祉科>

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉 専門課程	介護福祉科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1995時間	855 時間	690 時間	450 時間	0	0
			1995時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		15人	0人	3人	12人	15人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
厚生労働省提示の授業内容や時間数等を基本とし、PDCAに基づく自己評価や学校関係者による評価、教育課程編成に係る意見、学生の満足度調査等をふまえ、学内共通のフォーマット(※下記項目)で作成している。例年1月にカリキュラム検討委員会を開催し、3月下旬をめどに教育要項(授業計画書を含む)を作成。4月のオリエンテーション時等で学生に配布し、各科目初講時に担当教員が伝達、確認している。
※授業形態(方法)、学習目標、評価の方法及び基準、講義内容(授業計画) 他

成績評価の基準・方法
(概要) ・試験のうえ合格者に単位を与える。 ・所定授業数1/3以上欠席した場合、受験資格はない。 ・60点以上で合格とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) ・本校所定の教育課程を履修し、必要単位数を全て修得していること。 ・学校後納金を完納していること。 ・性行上問題がないこと。
学修支援等
(概要) ・放課後等、授業時間外での個別相談、指導。 ・学習サポート室、相談室の設置。 ・担当教員及び学科で諮ったうえでの補講の実施。 ・巡回による実習指導。

業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
11人 (100%)	0人 (0%)	11人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 介護保険施設、障害者施設、社会福祉事業団、グループホーム 等			
(就職指導内容) ・履歴書の書き方、面接、筆記等試験対策 ・就職支援室の活用			
(主な学修成果(資格・検定等)) ・介護福祉士国家試験受験資格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 補講、教員との対話、個別指導、保護者との連携、生活指導 等		

<こども科>

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉 専門課程	こども科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1950時間	600 時間	1140 時間	410 時間	0	0
			2150時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100人		46人	0人	6人	18人	24人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
厚生労働省提示の授業内容や時間数等を基本とし、PDCAに基づく自己評価や学校関係者による評価、教育課程編成に係る意見、学生の満足度調査等をふまえ、学内共通のフォーマット（※下記項目）で作成している。例年1月にカリキュラム検討委員会を開催し、3月下旬をめどに教育要項（授業計画書を含む）を作成。4月のオリエンテーション時等で学生に配布し、各科目初講時に担当教員が伝達、確認している。
※授業形態（方法）、学習目標、評価の方法及び基準、講義内容（授業計画） 他
成績評価の基準・方法
（概要）・試験のうえ合格者に単位を与える。 ・所定授業数1／3以上欠席した場合、受験資格はない。 ・60点以上で合格とする。
卒業・進級の認定基準
（概要）・本校所定の教育課程を履修し、必要単位数を全て修得していること。 ・学校後納金を完納していること。 ・性行上問題がないこと。
学修支援等
（概要）・放課後等、授業時間外での個別相談、指導。 ・学習サポート室、相談室の設置。 ・担当教員及び学科で諮ったうえでの補講の実施。 ・巡回による実習指導。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他

25人 (100%)	1人 (4%)	24人 (96%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 保育所、認定こども園、保育所以外の児童福祉施設や社会福祉施設 等			
(就職指導内容) ・履歴書の書き方、面接、筆記等試験対策 ・就職支援室の活用			
(主な学修成果(資格・検定等)) ・保育士資格 ・幼稚園教諭二種免許 ・社会福祉主事任用資格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
57人	8人	14%
(中途退学の主な理由) 進路変更、体調不良、対人関係		
(中退防止・中退者支援のための取組) 補講、教員との対話、個別指導、保護者との連携、生活指導 等		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
医療情報管理科	150,000円	480,000円	310,000円	
医療情報管理 専攻科	0円	480,000円	310,000円	
介護福祉科	150,000円	500,000円	310,000円	
こども科	200,000円	550,000円	330,000円	
修学支援(任意記載事項)				
本校の卒業生の子及び兄弟姉妹が卒業または在籍しており、新たにその家族関係者が本校に入学する場合、入学金を100,000円減免いたします。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ・インターネット https://toyomc.jp/wp-content/themes/medical-management/pdf/r4jikhoyouka.pdf

・事務室にて閲覧		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
<p>本校では、平成26年度から実施している自己点検・評価を全職員が一体となって取り組み、PDCAにもとづいた学校運営、教育活動に取り組んでいる。主な評価項目は、教育理念・教育目的、学校運営、教育活動、学習成果、学生支援、教育環境、学生の受け入れ募集、財務、法令等の遵守、社会貢献・地域貢献の10項目としている。また、本校と関連の深い企業等の関係者、卒業生等5名で構成された「学校関係者評価委員会」を設置し、9月（中間）と3月（年間）の2回、委員会を開催し、評価結果を報告書にまとめ、公表している。さらに、学校自己評価及び学校関係者評価をふまえた改善方策について、10月から3月、4月から9月の二期、学校長（自己点検評価委員会委員長）を責任者として取り組んでいる。これらの一連の活動を通して、企業等が求める職業に必要な実践的かつ専門的な教育を行うことを第一義とし、学生、その他関係者の意向にも十分配慮した教育活動及び学校運営を目指す。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
医療法人 慶明会	2023年4月1日～ 2025年3月31日	企業等役員 元非常勤講師
社会福祉法人 宮崎市社会福祉協議会	2023年4月1日～ 2025年3月31日	企業等役員
社会医療法人 善仁会 善仁会病院 総合健診センター	2023年4月1日～ 2025年3月31日	卒業生、前同窓会会長
社会福祉法人 芳生会 特別養護老人ホーム 芳生苑	2023年4月1日～ 2025年3月31日	卒業生、現同窓会会長
社会福祉法人 恵浄福社会 めぐみ保育園	2023年4月1日～ 2025年3月31日	企業等役員
学校関係者評価結果の公表方法		
<p>（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット https://toyomc.jp/wp-content/themes/medical-management/pdf/r4kankeihyouka.pdf ・事務室にて閲覧 		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

<p>（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット https://toyomc.jp ・「2023年 学校案内」を希望者に配布及び送付

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H145320186285
学校名	宮崎医療管理専門学校
設置者名	学校法人 東洋学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		33人	30人	33人
内訳	第Ⅰ区分	16人	17人	
	第Ⅱ区分	-	-	
	第Ⅲ区分	-	-	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				33人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		-	-
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)		0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況		-	0人
「警告」の区分に連続して該当		0人	0人
計		-	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑つて認定の効力を失つた者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	前半期	0人	後半期 0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)		0人	0人
GPA等が下位4分の1		0人	0人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況		0人	0人
計		0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。